



2021年2月26日

各位

会社名 神鋼商事株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森地 高文
 (コード番号 8075)
 問合せ先責任者 総務部長 古館 浩保
 (TEL 03-5579-5201)

通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

2020年9月18日に公表した2021年3月期通期業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	750,000	2,700	2,700	800	90.35
今回修正予想 (B)	784,400	4,200	3,500	2,000	225.86
増減額 (B-A)	34,400	1,500	800	1,200	
増減率 (%)	4.6	55.6	29.6	150.0	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	936,031	4,829	3,943	1,629	184.03

(2) 2021年3月期通期個別予想数値の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	605,000	3,500	1,500	169.38
今回修正予想 (B)	637,200	3,900	2,200	248.42
増減額 (B-A)	32,200	400	700	
増減率 (%)	5.3	11.4	46.7	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	760,698	4,372	2,318	261.78

修正の理由

2021年3月期通期の連結業績につきましては、前回公表時(2020年9月18日)と比較し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により生産が減少していた自動車業界を中心とする各需要家が、想定を上回る回復をしてきております。そのため連結売上高が前回予想より増加する見込みです。それに加えて、期初から進めております販管費及び一般管理費等の経費削減効果も引き続き見込めること及び取扱い商材の相場等が想定以上に上昇していることなどにより、営業利益、経常利益は大幅に増加する見込みです。

なお、本日同時に開示しております「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり、当第4四半期で投資有価証券と関係会社の建物、設備等の評価損を特別損失に約11億円計上いたしますが、既に当第3四半期に特別利益7億31百万円を計上しておりますため、結果として親会社株主に帰属する当期純利益は、前回予想に対して大幅に増加する見込みです。

また、通期の個別業績につきましては、売上高、経常利益は連結業績と同様の理由により、それぞれ増加する見込みです。当期純利益は売上高の増加に加え、当第3四半期に計上した投資有価証券の売却益が影響し、大幅に増加する見込みです。

2. 配当予想の修正について

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期	期末	合計
前回予想 (2020年9月18日発表)		15.00	30.00
今回修正予想		35.00	50.00
当期実績	15.00		
前期実績 (2020年3月期)	55.00	35.00	90.00

修正の理由

当社は、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つに位置付けており、企業体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保等を考慮しつつ、各期の業績に応じた配当を継続していくことを基本方針としております。

2021年3月期の期末配当予想につきましては、前述のように、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想に対してそれぞれ大幅に増加する見込みであることから、当社の事業環境や業績を含め総合的に勘案した結果、前回予想に対して20円増配の1株当たり35円に修正させていただきます。これにより、年間配当金は50円となる見込みです。

(注) 上記の業績予想及び配当予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績及び配当は、今後のさまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以上